

第 3 次筑西市総合計画 基本計画案（施策シート）

基本目標	いつも安心なまち	
施策	1	防災・減災・消防
担当課	消防防災課	
	道路建設課	

目指す姿	「自助・共助・公助」を連携させ、災害に強く誰もが安心できる強靱な地域社会を目指します。
------	---

項目	第3次筑西市総合計画 基本計画案		
現状	・防災資機材の整備や訓練、自主防災組織への支援を通じ、地域防災力の向上に継続的に取り組んできました。 ・近年の気候変動に伴う風水害の激甚化や、消防団員の減少といった社会情勢の変化により、防災を取り巻く環境は新たな局面を迎えており、これまでの成果をもとに、より強靱な体制構築が求められています。		
課題	・自然災害が激甚化するなか、市民の生命・財産を守るため、防災意識を高めることが急務となっています。 ・自らを守る「自助」の普及啓発と、地域で助け合う「共助」の体制強化が課題です。 ・複合災害への対応やデジタル活用・多様な連携による地域防災力の更なる向上も喫緊の課題となっており、これらを通じた多角的なアプローチによって災害に強い安全・安心なまちづくりを推進していく必要があります。		
取組方針	1	市民一人ひとりの防災意識と実践力を高め、自助・共助を基盤とした地域防災力を強化します	
	2	災害時における避難所の機能強化と避難者への支援を充実させ、円滑な運営体制の確立を図ります	
	3	地域に根ざした消防団の活動支援と機能強化を図り、地域防災力を高めます	
	4	国・県が推進する流域治水プロジェクトと連携し、流域治水対策の周知啓発を図ります	

成果指標				
1)成果指標	市における食糧備蓄の充足率	指標単位	% / 年	
		現状値	R7 年	65.1
		目標値	R13 年	100
2)成果指標	災害時応援協定締結事業所との連携数	指標単位	回 / 年	
		現状値	R7 年	2
		目標値	R13 年	3
3)成果指標	消防団の水防訓練・中継放水訓練の実施回数	指標単位	回 / 年	
		現状値	R7 年	8
		目標値	R13 年	8

主な取組	
主な取組①	防災意識の向上・普及啓発
主な取組②	自主防災組織の設立支援と活動活性化
主な取組③	避難所設備の整備と備蓄の充実
主な取組④	災害時応援協定締結の促進
主な取組⑤	流域治水と自助行動の促進

第 3 次筑西市総合計画 基本計画案（施策シート）

基本目標	いつも安心なまち	
施策	2	交通安全・防犯対策
担当課	市民安全課	
	商工観光課	

目指す姿	交通事故や犯罪を未然に防ぎ、市民が安全・安心に暮らせるまちを目指します。
------	--------------------------------------

項目		第3次筑西市総合計画 基本計画案			
現状		・警察や関係団体と連携し、交通安全教室及び街頭啓発活動の実施並びに交通安全施設の整備を進めるとともに、防犯情報の発信、防犯カメラ等の整備促進、防犯活動の支援などに取り組んできました。 ・高齢化に伴う交通事故リスクの増加、自転車利用者に対する交通ルール強化、犯罪手口の多様化・巧妙化など、交通安全・防犯を取り巻く環境は変化しており、継続的な対応が必要となっています。			
課題		・交通安全については、高齢者や自転車利用者を含む市民一人ひとりの交通安全意識の定着を図るとともに、交通事故を事前に防ぐための道路環境や交通安全施設の整備が求められています。 ・防犯対策については、特殊詐欺など多様化・巧妙化する犯罪手口に対応するため、防犯情報の発信、防犯設備の整備、地域防犯活動を支える体制の維持等が必要です。			
取組方針	1	警察・交通安全関係団体と連携して年代や交通手段に応じた啓発を行い、交通事故の事前防止を図ります			
	2	交通安全施設の適切な整備・維持管理により、安全な通行環境を確保します			
	3	防犯カメラ等の整備促進と情報発信を行うとともに、警察・防犯関係団体と連携し、犯罪が発生しにくい環境づくりを進めます			
	4	消費者被害の未然防止や早期解決のため、消費生活センターの利用促進や認知度向上に取り組めます			
成果指標					
1)成果指標	人身交通事故発生件数	指標単位		件/年	
		現状値	R7 年	152	
		目標値	R13 年	120	
2)成果指標	自転車利用者が関係する人身交通事故発生件数	指標単位		件/年	
		現状値	R7 年	15	
		目標値	R13 年	12	
3)成果指標	刑法犯認知件数	指標単位		件/年	
		現状値	R7 年	792	
		目標値	R13 年	767	
4)成果指標	消費生活センターの対応件数	指標単位		件/年	
		現状値	R7 年	360	
		目標値	R13 年	370	
主な取組					
主な取組①		交通安全教育・啓発活動の推進			
主な取組②		高齢者及び自転車利用者の交通安全対策の推進			
主な取組③		交通安全施設の整備・維持管理			
主な取組④		防犯対策設備の整備促進			
主な取組⑤		防犯意識の定着と地域防犯活動の推進			
主な取組⑥		消費生活センター活動の周知促進			

第 3 次筑西市総合計画 基本計画案（施策シート）

基本目標	いつも安心なまち	
施策	3	空き家・空き地
担当課	環境課	

目指す姿	空き家・空き地の適正な管理及び利活用を推進し、放置による不安を解消することで、安全で快適な住環境の確立を目指します。
------	--

項目		第3次筑西市総合計画 基本計画案				
現状		・近年、管理不十分な空き地や空き家が点在し、通行の妨げ、火災・害虫等の発生、景観悪化、不法投棄などの問題が生じています。 ・所有者への適正管理の依頼や看板設置による啓発、空き家の実態調査を実施してきました。 ・発生抑制の啓発と利活用のマッチング強化に取り組めます。 ・関係機関と連携し、地域の安全確保と環境保全を継続的に推進します。				
課題		・人口減少や相続に伴う空き家・空き地の増加が顕著で、管理不全による防犯・防災機能の低下や環境悪化が懸念されます。 ・所有者不明地を含む適正管理を推進するとともに、これら遊休資産を地域資源として有効活用し、移住・定住の促進につなげることが求められています。 ・無料相談会等の取組を強化し、空き家・空き地の発生抑制に向けた早期相談体制を定着させることに取り組む必要があります。				
取組方針	1	適切な指導と支援により空き家・空き地の管理不全を解消し、安全な生活環境を確保します				
	2	空き家バンクの拡充や民間連携を強化し、遊休資産の円滑な流通と移住・定住への利活用を図ります				
	3	専門家と連携した相談体制を定着させ、相続や登記等の諸問題への早期対応による空き家・空き地の発生抑制を進めます				
成果指標						
1)成果指標	年度内に把握した管理不全「空き地」に対する年度内改善率	指標単位			%/年	
		現状値	R7	年	87	
		目標値	R13	年	90	
2)成果指標	年度内に把握した管理不全「空き家」に対する年度内改善率	指標単位			%/年	
		現状値	R7	年	63	
		目標値	R13	年	65	
3)成果指標	空き家の利活用（空き家バンク成約）件数累計	指標単位			件	
		現状値	R7	年	25	
		目標値	R13	年	40	
4)成果指標	空き家無料相談会等による問題解決・方針決定数	指標単位			件	
		現状値	R7	年	0	
		目標値	R13	年	15	
主な取組						
主な取組①		空き地の適正管理と不法投棄の防止				
主な取組②		専門家と連携した空き家の発生抑制				
主な取組③		空き家等の適切な管理の推進と実態把握				
主な取組④		空き家バンクの活用と利活用の促進				
主な取組⑤		所有者の責任意識の向上と自主的な管理の促進				

第 3 次筑西市総合計画 基本計画案（施策シート）

基本目標	いつも安心なまち	
施策	4	住環境
担当課	都市計画課	
	まちづくり課	

目指す姿	公園の魅力向上と市営住宅の適正管理により、快適で安心な住環境の形成を目指します。
------	--

項目		第3次筑西市総合計画 基本計画案			
現状		・公園については、施設の点検、修繕、除草、剪定等の維持管理を行ってきたものの、市民ニーズとしては低い傾向にあります。 ・市営住宅については、入居可能な286 戸のうち、高齢者・障がい者に配慮した住宅が45戸となっています。 ・「筑西市営住宅長寿命化計画」に基づき、改修や維持管理を行い、住宅困窮者に対する供給を行ってきました。			
課題		・優良な公園整備は、豊かな住環境に必要な要素ですが、市民の満足度の低さと市民ニーズに合った対応が課題です。 ・市営住宅については、引き続き中長期的な活用を図るため、計画的な維持補修を行うとともに、耐用年数が経過し老朽化が著しい住宅の解体撤去工事の実施や市営住宅としての用途廃止を進め、跡地の有効活用に向けて、検討を重ねることが必要です。			
取組方針	1	公園施設の点検を継続し、安心して遊べる場を提供する			
	2	公園内の除草や剪定に加えて、適切に植樹を行うことで、緑豊かな環境を提供する			
	3	公園維持管理等に民間資源の導入を検討し、効率的で持続可能な管理体制を構築する			
	4	適切な住宅供給を維持するとともに、市営住宅の計画的な改修や解体・跡地の有効活用を図る			
成果指標					
1)成果指標	適切な点検・維持管理が行き届いている公園数	指標単位		公園/年	
		現状値	R7 年	92	
		目標値	R13 年	92	
2)成果指標	市民一人当たりの都市公園供用面積	指標単位		㎡/人	
		現状値	R7 年	8.95	
		目標値	R13 年	10	
3)成果指標	市営住宅管理戸数	指標単位		戸	
		現状値	R7 年	570	
		目標値	R13 年	510	
主な取組					
主な取組①		公園施設の点検及び修繕			
主な取組②		公園遊具の新設			
主な取組③		公園維持管理等に民間資源の導入を検討			
主な取組④		市営住宅供給の適正維持と居住環境向上の推進			

第 3 次筑西市総合計画 基本計画案（施策シート）

基本目標	いつも安心なまち	
施策	5	都市計画
担当課	都市計画課	
	ふるさと整備課 道路建設課 まちづくり課 宅地開発課	

目指す姿	都市機能の集約とネットワーク化で、豊かな自然と調和する持続可能なまちの実現を目指します。
------	--

項目		第3次筑西市総合計画 基本計画案			
現状		・市街化区域については、駅周辺や主要幹線道路沿いを中心に都市機能や住宅地が集積し、市民生活や経済活動の拠点として計画的に活用されています。 ・市街化調整区域については、優れた農地や豊かな自然環境を保全するため、開発や建築が抑制されています。 ・これら2つの区域の特性を生かし、都市機能の利便性と良好な住環境の維持、そして市全体の均衡ある発展を図る土地利用の運用を行っています。			
課題		・人口減少や社会意識の変化に伴う空き家・空き店舗の増加や、低未利用地の拡大は、中心市街地の活力低下を招く大きな課題です。 ・近年の生活動線の変化に既存の都市計画が対応しきれていない点や産業用地の不足等の問題も深刻化しています。 ・既存インフラを効果的に維持・管理しながら、多様な世代が持続的に住み続けられるコンパクトな都市構造への再編が求められます。			
取組方針	1	持続可能な都市づくりのために立地適正化を図ります			
	2	正確な地積情報や地図を備えることで、土地の有効利用に役立てます			
	3	法令及び都市計画との整合を図りながら、開発許可制度及び区域指定制度の適正な運用を行います			
成果指標					
1)成果指標	市街化区域内の人口増加地区数	指標単位		地区	
		現状値	R7 年	5	
		目標値	R13 年	6	
2)成果指標	地籍調査事業の調査実施面積	指標単位		km ²	
		現状値	R7 年	123.05	
		目標値	R13 年	123.75	
主な取組					
主な取組①		立地適正化計画の策定			
主な取組②		地籍調査事業の推進			
主な取組③		開発許可制度の適正運用			
主な取組④		区域指定制度の適正運用			

第 3 次筑西市総合計画 基本計画案（施策シート）

基本目標	いつも安心なまち	
施策	6	道路・橋梁
担当課	道路建設課	
	道路維持課	

目指す姿	道路の安全・安心の確保に向け道路ネットワークの機能強化を目指します。
------	------------------------------------

項目		第3次筑西市総合計画 基本計画案			
現状		・広域・幹線道路や市民の日常生活を支える身近な道路網の計画的な整備や狭あい道路の改善、交通環境の維持・改良、安全で快適な歩道の整備などを進めてきました。 ・本市の交通の軸となる国道50号の整備や筑西幹線道路をはじめとした幹線道路網の計画的な整備が進んでいます。 ・市民の皆様の安全な交通を確保するために、ライフラインとしての道路や橋梁の補修・点検調査を実施しています。			
課題		・市街地内環状線を形成する玉戸・一本松線及び国道50号バイパス、主要地方道筑西つくば線バイパスの早期完成及び筑西幹線道路の整備が必要です。 ・生活道路は、少子高齢化社会に対応し、計画的・段階的に整備するとともに、誰にもやさしい道路づくりを推進していく必要があります。 ・老朽化した道路施設・橋梁などの補修や更新を実施し、市民の安全で快適な交通を確保することが必要です。			
取組方針	1	生活・観光・企業などの活動に資する交通網の充実を図るため、広域交通の骨格となる国道や県道の整備促進を要望していきます			
	2	内環状線を構成する幹線道路整備を促進していきます			
	3	舗装の長寿命化及び維持修繕に係るライフサイクルコストの縮減により、安全で快適な道路環境の保全を図ります			
	4	橋梁の定期的な点検と修繕により安全性を確保し、維持管理費の抑制及び長寿命化を図ります			
成果指標					
1)成果指標	幹線道路（玉戸・一本松線）の整備率	指標単位		%	
		現状値	R7 年	36.0	
		目標値	R13 年	92.0	
2)成果指標	市道舗装率	指標単位		%	
		現状値	R7 年	70.3	
		目標値	R13 年	73.0	
3)成果指標	橋梁点検の診断結果Ⅰ及びⅡ判定の割合	指標単位		%/年	
		現状値	R7 年	97.6	
		目標値	R13 年	98.0	
主な取組					
主な取組①		国・県道の整備促進（要望活動）			
主な取組②		幹線道路（都市計画道路など）の整備			
主な取組③		橋梁の点検・修繕			
主な取組④		生活道路の整備推進			

第 3 次筑西市総合計画 基本計画案（施策シート）

基本目標	いつも安心なまち	
施策	7	公共交通
担当課	まちづくり課	

目指す姿	あらゆる世代が公共交通を使いたいときに利用できる環境の維持と整備を目指します。
------	---

項目		第3次筑西市総合計画 基本計画案			
現状		・鉄道、路線バス、デマンド交通システム「のり愛くん」及びタクシーが運行しており、相互補完することで交通網の充実を図っています。 ・全体的に利用者は着実に増加していますが、依然として市民の普段の移動手段は自家用車が主であり、公共交通の利用意識の醸成や、各交通モードのサービス改善が求められています。 ・バス等の運転手が不足する一方で、高齢者や免許返納者の増加が想定され、市内公共交通の維持・改善が必要となります。			
課題		・想定される人口減少や、高齢化の進展とそれに伴う免許返納者の増加によって、不便が生じる市民の移動手段を確保できるよう、各交通モードの相互連携や役割分担を図りながら、持続可能な体制を維持していく必要があります。 ・特にバスにおいて、運転士の慢性的な不足や高齢化が進んでおり、安定的な人員確保が課題となっています。			
取組方針	1	市民のニーズや事業者の状況に合わせて各交通モードの見直しを行い、公共交通の適正維持を図ります			
	2	既存公共交通の利用促進に向けた取組のほか、利用の呼び水となる施策を検討します			
	3	公共交通の持続的な維持確保及び運転手不足への対応に向け、先進技術の活用等による新たな取組を研究します			
成果指標					
1)成果指標	公共交通の1日平均利用者数	指標単位		人/日	
		現状値	R7 年	7,812	
		目標値	R13 年	—※	
2)成果指標	公共交通の収支率	指標単位		% / 年	
		現状値	R7 年	18.32	
		目標値	R13 年	—※	
3)成果指標	モビリティマネジメントの実施件数	指標単位		件/年	
		現状値	R7 年	7	
		目標値	R13 年	—※	
主な取組					
主な取組①		鉄道輸送の充実			
主な取組②		バス路線の維持			
主な取組③		のり愛くんの利便性向上			
主な取組④		モビリティマネジメントの実施			
主な取組⑤		先進技術等の新たな取組の研究			

第 3 次筑西市総合計画 基本計画案（施策シート）

基本目標	いつも安心なまち	
施策	8	上水道
担当課	水道課	

目指す姿	水道水の安全かつ安定した供給と健全な事業経営の確立を目指します。
------	----------------------------------

項目		第3次筑西市総合計画 基本計画案				
現状		・平成21年度に行った旧 4 市町地区の事業統合以降、市民の要望を基に、未整備区域への配水管の整備、老朽化した水道施設の改修を行いながら、令和 7 年度には耐震化を目的とした石綿セメント管の布設替工事を完了し、安全・安心な水道水の安定供給に努めてきました。 ・健全な事業経営を確立するため、維持管理費などのコスト削減や広報活動による加入推進を行い、収益の向上を図ってきました。				
課題		・水道事業を取り巻く環境は大きく変化しており、人口減少による給水収益の減少や、老朽化が進んだ水道施設の更新、頻発化・激甚化する災害への対策、水道水源の地下水から県水への移行等の課題を抱えています。 ・水道事業を持続させるため、将来的な水道事業の広域化を見据え、中長期的な視点に立った計画的な事業運営が求められています。				
取組方針	1	水質管理の充実と強化を図ります				
	2	老朽化した水道施設の計画的な更新及び基幹施設の耐災害性強化を図ります				
	3	水源の安定化及び水道事業の経営基盤の強化を図ります				
成果指標						
1)成果指標	上水道普及率	指標単位			%	
		現状値	R7	年	87.5	
		目標値	R13	年	90	
2)成果指標	有収率	指標単位			%	
		現状値	R7	年	86.1	
		目標値	R13	年	90	
3)成果指標	水道事業の経常収支比率	指標単位			%以上	
		現状値	R7	年	108.6	
		目標値	R13	年	100	
4)成果指標	水道管路の耐震適合率	指標単位			%	
		現状値	R7	年	19.7	
		目標値	R13	年	21.2	
主な取組						
主な取組①		水源から蛇口までの水質管理の徹底				
主な取組②		水道施設の更新・耐震化				
主な取組③		安定的な水源確保と関連設備の維持管理				
主な取組④		経営基盤の強化				
主な取組⑤		水道事業の経営の一体化				

第 3 次筑西市総合計画 基本計画案（施策シート）

基本目標	いつも安心なまち	
施策	9	下水道
担当課	下水道課	

目指す姿	人口減少を見据えた効率的な維持管理、施設更新と老朽化対策を推進し、将来にわたり持続可能な下水道事業の運営を目指します。
------	---

項目		第3次筑西市総合計画 基本計画案			
現状		・地域の特性に合わせた生活排水の処理を進めるため、公共下水道及び農業集落排水の整備並びに合併処理浄化槽の設置を推進してきた結果、汚水処理普及率は着実に伸びている状況です。 ・使用料収入はこれまで微増で推移してきましたが、直近では横ばいの状態となっています。一方で、電気料の高騰などにより維持管理経費は増大しています。			
課題		・収入面については人口減少に伴う使用料収入の減少が見込まれること、支出面については整備された施設が更新時期を迎えてきており、更新に多額の費用が必要となることに加えて施設の老朽化に伴う維持管理費も増大していることから、経営環境は厳しさを増しています。 ・将来にわたり安定的なサービスを持続させるため、使用料の見直しによる収益の確保及び計画的な施設更新による延命化や広域化、効率的な資産管理による経営の健全化を図っていく必要があります。			
取組方針	1	快適で衛生的な暮らしを支えるため、地域の実情に応じた汚水処理を進めます			
	2	使用料の増収や経費削減、事業の平準化に努めるなど費用負担の軽減を図ることで、安定・効率的な運営体制を確保します			
	3	既存施設の老朽化対策として、各改築更新計画に基づく改築・更新工事を実施し、長寿命化・最適化を図ります			
成果指標					
1)成果指標	汚水処理普及率	指標単位		%/年	
		現状値	R7 年	78.7	
		目標値	R13 年	82	
2)成果指標	経費回収率	指標単位		%/年	
		現状値	R7 年	76.8	
		目標値	R13 年	100	
3)成果指標	重要路線の点検実施率	指標単位		%	
		現状値	R7 年	0	
		目標値	R13 年	100	
主な取組					
主な取組①		公共下水道の整備及び経営健全化			
主な取組②		農業集落排水事業の経営健全化			
主な取組③		既存汚水処理施設の適正な維持管理			
主な取組④		合併処理浄化槽の設置促進			
主な取組⑤		管路の適切な維持管理・更新			

第3次筑西市総合計画 基本計画案（施策シート）

基本目標	いつも安心なまち	
施策	10	協働のまちづくり
担当課	市民協働課	
	広報広聴戦略課 議事課	

目指す姿	協働によるまちづくりが自発的に発展する「持続可能な市民協働社会」を目指します。
------	---

項目		第3次筑西市総合計画 基本計画案			
現状		・市民生活に根差した情報発信をはじめ、まちづくりイベントの開催や自治会の加入促進、市政及び議会情報の公開等、多角的に市民参画の機運醸成に注力してきました。 ・協働によるまちづくりの基盤は整った一方で、若者が活躍できる場や協働に関わる組織間の連携が求められています。 ・少子高齢化による担い手不足や自治会解散、議会への関心低下など、地域活力の低下が懸念されます。			
課題		・これまでに醸成された市民参画の意識を、より自律的・組織的な協働の仕組みへと発展させることが求められます。 ・若年層や転入者の加入意識の希薄化による自治会加入率の低下や地域活動の担い手不足の解消、市民団体等が連携して相乗効果を生むための有機的なネットワークの整備及び市政への関心を高めるための情報のデジタル化が必要です。 ・今後は、多様な主体がまちづくりに参画できる環境を再構築していくことが重要となります。			
取組方針	1	各種市民団体の有機的なネットワーク化を進めることで、活動の自立性を高めます			
	2	将来を担う人材の育成や新たな活動に対する支援を充実させ、市と地域の活力向上を図ります			
	3	研修会の開催や相談対応などの支援強化に取り組み、自治会への加入促進を図ります			
	4	市民の市政参画と、開かれた行政・議会の実現（透明性確保）促進を図ります			
成果指標					
1)成果指標	ちくせい市民協働まちづくりサロン利用者満足度	指標単位		%/年	
		現状値	R7 年	94.5	
		目標値	R13 年	95	
2)成果指標	「協働のまちづくり学習会」への参加者数	指標単位		人/年	
		現状値	R7 年	17	
		目標値	R13 年	30	
3)成果指標	自治会への加入状況	指標単位		%/年	
		現状値	R7 年	73.1	
		目標値	R13 年	75	
4)成果指標	市政懇談会参加者の満足度	指標単位		%/年	
		現状値	R7 年	65	
		目標値	R13 年	90	
5)成果指標	議会傍聴者数	指標単位		人/年	
		現状値	R7 年	707	
		目標値	R13 年	800	
主な取組					
主な取組①		各種市民団体の情報発信とその相互間のネットワーク促進			
主な取組②		協働を担う人材育成の推進			
主な取組③		地域活動に対する支援			
主な取組④		自治会の加入促進と運営支援			
主な取組⑤		市民に開かれた行政情報の発信			